取扱説明書　日立リビングサプライ

保証書付 保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ずご記入をお受けください。

デジタルオーディオプレーヤー

HMP-X5形

このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

●本機には、デモ用として、「ザ★ボン」の3rd MAXI SINGLE「雨／小さな幸せ」の2曲「雨」、「小さな幸せ」をサンプル収録しています。（楽曲は約45秒間の試聴サンプル）

目次

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくご使用ください。
安全のため必ずお守りください。

絵表示について

製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

絵表示の例

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

図記号の意味

記号は、「してはいけないこと（禁止事項）」を示しています。

記号は、「しなければならないこと（強制事項）」を示しています。

⚠ 警告

■ 分解・改造しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。
火災、感電の原因になります。内部の点検および修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

■ 異常が起きたら、パソコンまたはUSBケーブルから本機を取り外す

指示

煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 運転中は使用しない

禁止

自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因になります。また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。

■ 内部に水や異物を入れない

禁止

水・異物が内部に入ったら、使用しないでください。そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。
●お買い上げ店にご相談ください。

■ 水がかかる場所で使用しない

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。雨天・降雪・海岸・水辺での使用は特にご注意ください。

■ 風呂場・シャワー室で使用しない

水場禁止

火災・感電の原因になります。

■ 大音量で長時間続けて聞きすぎない

禁止

ヘッドホンやイヤホンで聞くときに耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
また、突然大きな音が出て耳を痛めることがありますので、音量は徐々に上げるようご注意ください。

■ 置き場所に注意する

禁止

湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因になります。また、窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因になります。

■ 火に近づけたり、火の中に投げ込まない

禁止

破裂・液漏れにより、火災やけがの原因になります。

■ お子様の手の届かないところで使用・保管する

指示

乳幼児が誤って本機や付属品を飲み込まないよう、乳幼児の手の届かないところで使用・保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師の治療を受けてください。

⚠ 注意

■ 本体やUSB端子を布団などで覆った状態で使わない

禁止

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因になることがあります。

■ コネクタ(端子)部には、指定以外のものを接続しない

禁止

火災･感電の原因になることがあります。

■ 飛行機の中など使用が制限または禁止されている場所では、使用しない

禁止

事故の原因になることがあります。

■ 油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない

禁止

火災･感電の原因になることがあります。

■ 異常な高温になる場所に置かない

禁止

暖房器具に近いホットカーペットの上、窓を閉め切った自動車の中や直接日光に当たる場所に置かないでください。

火災･破損･変形など故障の原因になることがあります。

■ 本機の上にものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因になることがあります。

■ 本機をストラップで下げている場合は、他のものに引っ掛かったり、強い衝撃や振動を与えないように注意する

けがや本体の故障の原因になることがあります。

■ ストラップの取り扱いに注意する

首などが絞まりすぎないように、ストラップの取り扱いにはご注意ください。

あらかじめご承知いただきたいこと

免責事項

●本製品およびパソコンの不具合によって音楽ファイルや記録されているデータが破損、または消去された場合のデータの補償に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●本製品のご使用によって生じたその他の機器やソフトの損害に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。
●本製品のご使用、または使用不能から生じる付随的な損害(事業利益の損失、中断を含む)に対して、当社では一切の責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

著作権について

●放送やCD、レコード、その他の録音物(ミュージックテープ、カラオケテープなど)の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。従ってそれらから録音したデータを売ったり、配ったり、譲ったり、貸したりする場合、及び営利(店のBGMなど)のために使用する場合には、著作権法上、権利者の許諾が必要です。
●使用条件は、場合によって異なりますので、詳しい内容や申請、その他手続きについては、「日本音楽著作権協会」(JASRAC)にお尋ねください。
(JASRAC本部:TEL.03-3481-2121)

商標について

●Windowsは、Microsoft Windows operating systemの略称です。
●Windows、Windows Mediaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
●その他記載された社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中にTM、Rはマーク明記しておりません。

使用上のご注意

大切な録音や再生は事前に確認を

大切な録音や再生の場合は、正常に録音や再生ができることを必ず事前に確認してください。

使用環境について

使用できる温度の範囲は、0〜40℃（結露しない状態）です。
温度差の大きい場所へ急激に移動すると、本機の内部や外部に水滴が付く（結露）ことがあります。結露は故障や正常な再生ができなくなる原因となりますので、ご注意ください。
温度差の大きい場所へ移す場合は、結露の発生を防ぐために、本機をビニール袋に入れて密封しておき、周囲の温度になじませた後、袋から取り出してください。
また、結露が発生した場合は、故障の原因となりますので、電源をオフにして、水滴が消えるまで待ってから、ご使用ください。

本書について

●本書に記載している表示画面の表示は、一部変形･省略しているものもあります。
●本製品に関するお問い合わせ、およびサポート、カタログ掲載内容については国内限定とさせていただきます。
●本書に記載している外観および仕様は、製品改良のために予告なく変更することがあります。

お手入れ

やわらかい布でからぶきしてください。
●ベンジンやアルコール、シンナーなどでふいたりしますと、変質、変色することがありますので使用しないでください。

バッテリーについて

●本機に内蔵のバッテリーは、リチウムポリマー充電池を使用しています。詳しくは、「バッテリーについて」の注意(→P.14)をご覧ください。

主な特長

2GB内蔵メモリ搭載

●128kbpsのWMA形式の音楽ファイルなら、最大415曲再生できます。(→P.24)

●USBメモリとして音楽ファイル以外のデータを保存したり、持ち運ぶこともできます。

MP3・WMA・WAV対応

●MP3、WMA、WAV形式のファイルを再生できます。(→P.22)

マスストレージ対応

●パソコンに接続すると、音楽／音声ファイルだけでなく、画像ファイルやその他のデータを内蔵メモリに保存することができます。

ボイスレコーダー機能

●内蔵マイクを使用して、会議や家族への伝言メモなどを録音できます(WAV形式)。(→P.37)

ID3タグ対応

●曲名を表示できます。(→P.22)

A-Bリピート機能

●聞きたいパートを指定して、繰り返し再生できます。(→P.47)

イコライザ機能

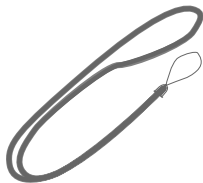
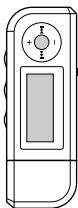
●曲に合わせて音質を選ぶことができます。(→P.46)

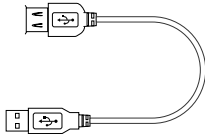
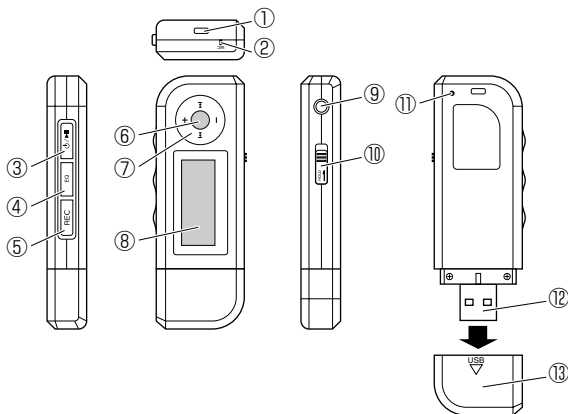
付属品を確認する

はじめに、本体と付属品を確認してください。

●本体（1）

●イヤホン（1）

●ネックストラップ（1）

●専用USB延長ケーブル（1）

●取扱説明書（1）
（本書:保証書付き）

各部の名前

①ストラップ通し穴

②内蔵マイク

③電源／再生／一時停止（⏻／▶II）ボタン
※ 電源のオン／オフや再生／一時停止などに使用します。

④EQ（イコライザ）ボタン

⑤REC（録音）／A-Bリピートボタン

⑥メニューボタン
※ 決定ボタンとしても使用します。

⑦操作ボタン
※ 早送り／早戻し／音量調節などの基本操作や、設定変更時の上下左右操作などに使用します。

⑧表示画面

⑨イヤホン端子

⑩HOLD（ホールド）スイッチ

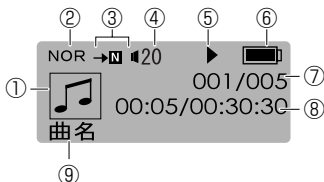
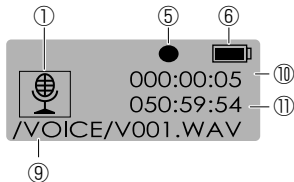
⑪RESET（リセット）ボタン

⑫USBコネクタ

⑬USBコネクタカバー

表示画面の見方

再生中／ボイス録音中の画面は以下のようになります。

【再生中表示画面】

【ボイス録音中表示画面】

①モード表示

：音楽再生モード

：ボイス（音声ファイル）再生モード／録音モード

②イコライザ（→P.46）
③プレイモード（→P.44）
A-Bリピート（→P.47）
④音量
⑤状態（再生▶／一時停止❙❙／停止■／録音中●）
⑥バッテリー残量（→P.18）
⑦再生中トラック／トラック数
⑧再生経過時間／再生時間
⑨曲名／ファイル名（→P.22）
⑩録音経過時間
⑪録音可能時間

準備する

バッテリーについて

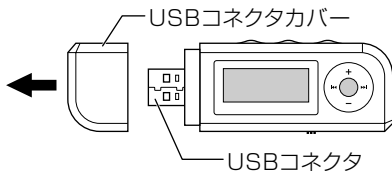
ご使用になる前に本機を充電してください。

注意

- 本機は、リチウムポリマー充電池を使用しています。
- 充電は0℃～40℃の温度範囲で行ってください。範囲外の温度で充電すると、充電時間が長くなったり、十分に充電できない場合があります。
- 充電時間は約3時間です。充電時間は、周囲の温度や充電状態によって異なります。
- 本機の規定充電回数(寿命)は約500回です。なるべく使い切ってから充電することをおすすめします。フル充電してもバッテリー持続時間が半分程度になった場合は、充電池の劣化と考えられます。
- 24時間以上の連続充電はしないでください。
- 本機を分解して内蔵の充電池を取り外すことはできません。

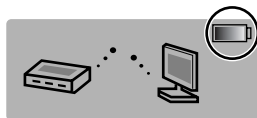
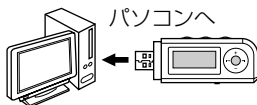
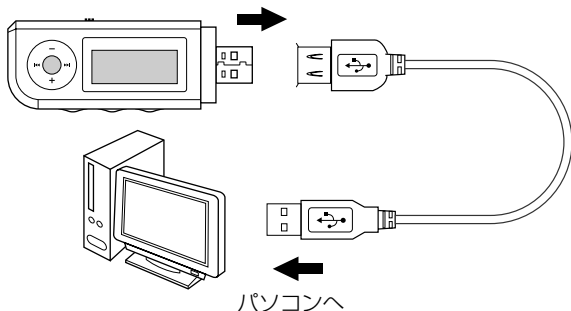
充電する

本機はパソコン(電源が入っている状態)とUSB接続することによって充電されます。(充電時間:約3時間)
パソコンにUSB接続する前に動作環境をご確認ください。(→P.23)
初めてお使いになるときは、フル充電になるまで、連続して充電してください。

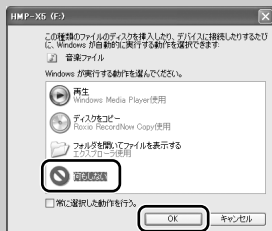
1 USBコネクタカバーを取り外します。

ちょっとこれを!

●USB接続しないときは、USBコネクタカバーを取り付けてください。

2 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動が完了した状態になってから、差し込む向きに注意して、USBコネクタを接続します。

パソコンに接続すると図のように表示され自動的に充電を開始し、バッテリーマーク内がスクロールします。

付属の専用USB延長ケーブルを図のように接続して使用することもできます。
差し込む向きにご注意ください。

注意

- ●パソコンがサスペンド／スタンバイ／休止状態のときは充電できません。
- ●ノートパソコンなどで、外部電源を使用していないときは、充電できない場合があります。
- ●初回接続時は[新しいハードウェアが見つかりました]ウィザードが表示され、自動的にパソコンが本機を認識する動作を行います。（設定が終わると消えますので、そのままお待ちください。）また、[新しいハードウェアの検索ウィザード]画面が表示された場合は、[次へ]をクリックし、画面の指示に従ってください。[検索ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックします。
- ●Windows XPをご使用の場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。

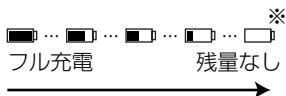
---

3 **表示画面左上のバッテリーマークが、スクロールから点灯に変わったら充電完了です。**

---

4 **充電が完了したらご使用のパソコンに応じた正しい取り外し方（ハードウェアの安全な取り外し）でUSB接続を外します。****（→P.35）**

バッテリー残量表示について

表示画面右上のバッテリーアイコンは、バッテリー残量を示しています。
バッテリー残量が少なくなったら、充電してください。

【表示画面】

※ この表示の場合、表示部が点灯しなかったり、正常に動作しない場合がありますので、充電してください。

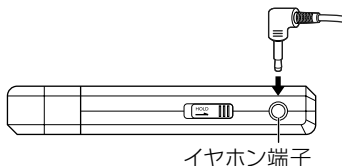
注意

- 電池残量がなくなると、「ローバッテリー!充電してください」と表示され、約3秒後に電源がオフになります。
- 使用状況や環境によって正しく表示されないことがあります。
- バッテリー残量の表示はご使用上の目安としてご利用ください。

ちょっとこれを!

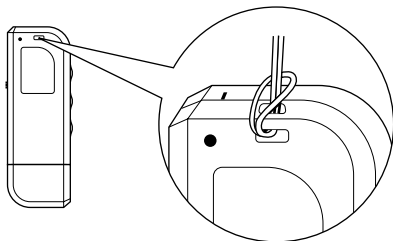
- 連続再生時間:約16時間
  ※ フル充電、MP3(128kbps)、音量:20、バックライト:10秒に設定した場合。

イヤホンを使用する

本機の電源がオフになっていることを確認して、図のようにイヤホンのプラグをイヤホン端子に差し込みます。

注意

- イヤホンのプラグを抜き差しするときは、必ず本機の電源をオフにしてください。
また、イヤホンを耳にはめたまま、イヤホンのプラグの抜き差しをしないでください。耳をいためるおそれがあります。
- イヤホンのプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になります。常によい音でご使用いただくために、イヤホンのプラグ部分をやわらかい布などで乾拭きしてください。

ストラップを取り付ける

付属の ネックストラップを、図のようにストラップ通し穴に取り付けます。

電源をオンにする／オフにする

電源をオンにする

表示画面に「Welcome」が表示されるまで、電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを押して電源をオンにします。

【本体】

注意

●HOLD(ホールド)スイッチがホールド状態の位置にあるときは、一旦電源が入りますが、表示画面に「ホールド!」が表示され、電源がオフになります。ホールド状態を解除してから電源を入れ直してください。(→P.21)

●電源をオンにするときに、記録されているすべてのファイルを確認いたしますので、本機に記録されているファイル数が多くなるにつれて、起動完了までの時間が長くなります。

電源をオフにする

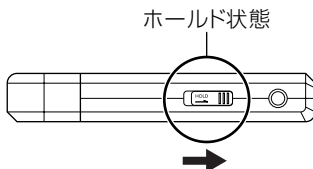
表示画面に「ByeBye」が表示されるまで、電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを長押しして電源をオフにします。

注意

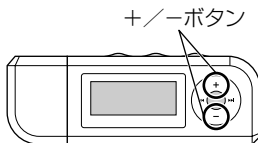
●電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを押す操作が短すぎると、電源がオフにならない場合があります。

ホールド機能を使う

本機をカバンやポケットに入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押してしまっても動作するのを防ぐ機能です。
HOLD(ホールド)スイッチを矢印方向にスライドさせると、ボタン操作が機能しないホールド状態になります。
解除するときは、HOLD(ホールド)スイッチを元の位置に戻します。

【本体】

音量を調節する

+または−ボタンを押して音量を調節します。

【本体】

【表示画面】

注意

- 音量の調節(0〜28)は、再生中に音量を確認しながら行ってください。
- お買い上げ時の音量初期値は20です。

再生する前に

パソコンから音楽ファイルを取り込む

パソコンから音楽ファイルを取り込む前に

再生できるファイル形式を確認する

以下の条件のファイルを再生できます。

- MP3（MPEG-1Audio Layer-3）
  ビットレート：32～320kbps
  ※ 曲情報はID3［Ver.1/Ver.2］タグ形式に対応していますが、本機で表示できる曲情報は「曲名」です。ID3タグ形式の他の曲情報（アーティスト名、アルバム名、ジャンルなど）は表示されません。ID3タグの情報がない場合はファイル名が表示されます。
- WMA（Windows Media Audio）
  ビットレート：32～192kbps
  ※ DRM-WMAには対応していません。（→P.59）
- WAV（Windowsの標準的な音声ファイル）

注意

●MP3ファイルの場合は128kbps以上、WMAファイルの場合は64kbps以上のビットレートを推奨します。
上記ビットレート以下の場合でも、再生することはできますが、音が割れて聞こえる場合があります。

パソコンの動作環境を確認する

パソコンとUSB接続する場合は、以下の条件がそろっていることが必要です。接続する前に必ずご確認ください。

- **対応OS：Windows Vista／XP／2000日本語版**
- **USBインターフェース（1.1／2.0仕様）を標準装備している機種**

注意

●OSはプリインストールしたモデルに限ります。自作パソコンや上記のOSでもアップグレードされた場合の動作は保証できません。
●USBハブや拡張USBボードに接続した場合の動作は保証できません。
●機器の構成によっては正常に動作しない場合があります。

再生収録可能な曲数(目安)

1曲を約4分で換算した場合の目安は次のようになります。

ファイル形式	ビットレート	再生可能な曲数	収録可能曲数(参考)※
MP3	128kbps	約415曲	約480曲
	192kbps	約360曲	約360曲
	256kbps	約240曲	約240曲
WMA	64kbps	約415曲	約960曲
	96kbps	約415曲	約720曲
	128kbps	約415曲	約480曲
	192kbps	約360曲	約360曲

※ 仕様制限により、本機に収録可能な曲数と本機で表示/再生できる曲数は異なります。本機で表示/再生可能な曲数(ファイル数)の上限は415曲になります。

注意

● 本機で表示できるフォルダ数の上限は50で、ファイル数の上限は415ファイルです。上限以上のフォルダ/ファイルを保存してもそれ以上のファイルは表示/再生されません。(→P.25)

ちょっとこれを!

● ビットレートの数値が大きくなると音質は向上しますが、ファイルサイズは大きくなり、内蔵メモリに記録できる曲数は少なくなります。
推奨のビットレートを目安にお試し頂き、目的に応じたビットレートを設定してください。

ファイル制限について

電源をオンにすると、本機に記録されているすべてのフォルダおよび音楽／音声ファイルをunicode順に確認、認識していきます。
本機には収録される音楽／音声ファイルおよびフォルダの数により、表示／再生に制限があります。

音楽／音声ファイル数の制限

表示／再生できる音楽／音声ファイルの上限は415ファイルになります。
415ファイル以上の音楽／音声ファイルが保存されている場合は、電源オン時に「ファイル制限!」と表示されます。

【表示画面】

ファイル制限！

この場合、上限を超えた音楽／音声ファイルは表示／再生されません。（unicode順で上限に入る音楽／音声ファイルのみ表示／再生することができます）

ちょっとこれを!

●本機で表示できるフォルダの階層の上限は18階層です。同じ階層に書き込めるファイル数は約250ファイルです。

フォルダ数の制限

収録されるフォルダ数が50フォルダを超えると音楽／音声ファイルが415ファイル以内であっても表示／再生できなくなります。

ちょっとこれを！

●本機は、unicode順に全てのフォルダおよび、音楽／音声ファイルを確認、認識していきます。

●フォルダを認識した場合、先にそのフォルダ内の音楽／音声ファイルをすべて確認してから、次のフォルダまたは音楽／音声ファイルを確認します。フォルダおよび音楽／音声ファイルを順に認識し、フォルダ数の上限(50フォルダ)または音楽／音声ファイル数の上限(415ファイル)を超えると、それ以上の音楽／音声ファイルを表示／再生することができません。

音楽CDから音楽ファイルをパソコンに取り込む(パソコンに録音する)

Windows Media Player 10などのソフトウェアを使うと、音楽CDからパソコンへ曲を取り込む(録音する)ことができます。
ここでは、Windows Media Player 10を使った方法をご紹介します。詳しくは、お手持ちのパソコンの取扱説明書やWindows Media Player 10のヘルプをご覧ください。

1 音楽CDをパソコンのCD-ROMドライブに入れます。

2 Windows Media Player 10を起動します。

3 [ツール]メニューの[オプション]をクリックします。

4 [オプション]メニューの[音楽の取り込み]をクリックします。

5 [取り込みの設定]の形式はWindows Mediaオーディオを選択し、[取り込んだ音楽を保護する]のチェックをはずします。

6 必要に応じて音質を選択し、[OK]ボタンをクリックします。

7 画面上部の[取り込み]ボタンをクリックします。

音楽CDから読み込んだ曲がリスト表示されます。すべての曲(チェックボックス)にチェックマークが付けられています。

8 取り込まない曲のチェックボックスをクリックし、チェックマークを外します。

9 [音楽の取り込み]ボタンをクリックします。

選択した曲の取り込み(パソコンへの録音)が始まります。

ちょっとこれを！

●特に変更をしない場合（初期設定）は、[マイミュージック]フォルダ内に[アーティスト名]フォルダが作成され、取り込んだ曲はそのフォルダ内に保存されます。アーティスト名を持たない場合は、[アーティスト情報なし]フォルダが作成され、そのフォルダ内に保存されます。

音楽配信サイトからの音楽購入について

本機は、音楽配信サイトから購入して、ダウンロードした音楽ファイルを取り込んで聞くことはできません。

パソコンに接続して音楽ファイルを取り込む

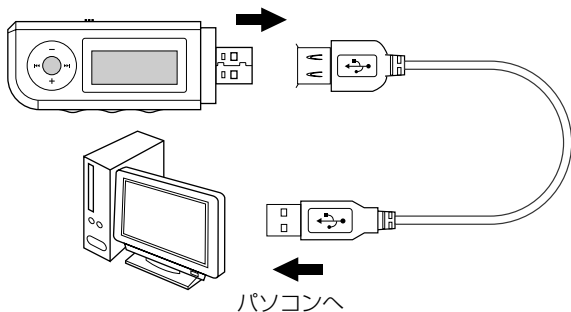
1 USBコネクタカバーを取り外します。

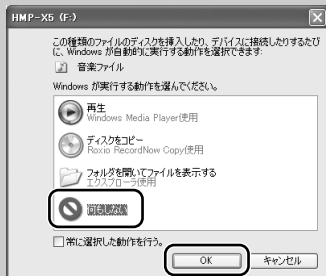
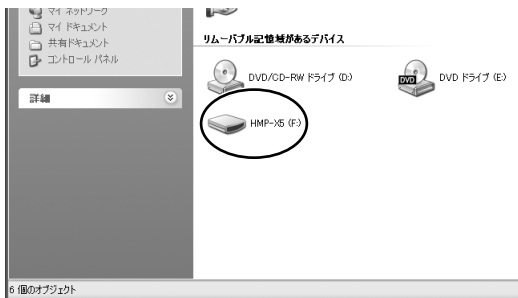
2 パソコンの電源を入れ、パソコンの起動が完了した状態になってから、差し込む向きに注意して、USBコネクタを接続します。

パソコンに接続すると図のように表示され自動的に充電を開始し、バッテリーマーク内がスクロールします。

【表示画面】

付属の専用USB延長ケーブルを図のように接続して使用することもできます。
差し込む向きにご注意ください。

再生する前に

注意

●Windows XPをご使用の場合に、OS側の自動再生ウィザードが表示された場合は、[何もしない]を選び、[OK]をクリックします。

3 [マイコンピュータ]を開き、本機に該当するリムーバブルディスクが表示されていることを確認します。

4 Windows Media Player 10を起動して、[同期] ボタンをクリックします。

5 転送する曲をメニューから選択します。

チェックボックスにチェックが入っていることを確認します。（個別に選ぶことができます。）

6 デバイスの項目で[HMP-X5]または本機に該当するリムーバブルディスクを選択します。

7 [同期の開始]をクリックして、転送を開始します。

転送を開始すると状態が[転送しています]と表示されます。
転送が終了すると[デバイスへ同期済み]に変わります。

注意

- 音楽ファイルを本機に取り込み中は、パソコンから取り外さないでください。保存されている音楽ファイルや記録されているデータなどが破損する原因になります。
- パソコンと接続中は、本機のボタン操作は無効になります。
- 本機で表示できるフォルダ数の上限は50で、ファイル数の上限は415ファイルです。上限以上のフォルダ/ファイルを保存してもそれ以上のファイルは表示/再生されません。(→P.25)

パソコンから取り外す

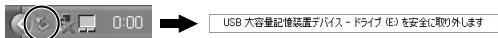
本機をパソコンから取り外すときは、以下の手順で行ってください。

注意

●正しい取り外し方をしないと、本機やパソコン、保存されている音楽ファイルや記録されているデータが破損する原因になります。必ず正しい取り外し方でUSBケーブルを取り外してください。

1 本機を利用しているすべてのアプリケーションを終了します。

2 以下の手順で取り外します。

(1) デスクトップの右下にある[ハードウェアの安全な取り外し]をクリックします。

(2) 本機に該当するドライブを選んで、[USB大容量記憶装置デバイスを安全に取り外します]をクリックします。
複数表示される場合は、本機に該当する項目をクリックしてください。本機の表示は、[マイコンピュータ]などで確認してください。

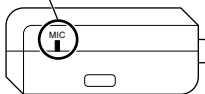
(3) [安全に取り外すことができます]ダイアログが表示されたら、[OK]をクリックします。

(4) 本機を取り外します。

注意

●本機にデータを書き込み中の場合は、本機を取り外さないでください。

マイクから音声を録音する(ボイスレコーダー機能)

本機の内蔵マイクを使用して録音できます。

注意

●大切な録音を行う前に、必ず試し録音をして、正常に録音ができることを事前に確認してください。

1 一時停止／停止状態で、REC(録音)ボタンを押します。

音声録音が開始され、録音画面が表示されます。
録音を開始すると、新しいファイルが自動で作成され、ファイル名は｢MIC-001.WAV｣から順に自動で付けられます。

【本体】

REC（録音）ボタン

【表示画面】

録音可能時間

録音経過時間

ちょっとこれを!

●録音を一時停止する場合は、REC(録音)ボタンを押します。
一時停止した録音を再開する場合は、再度REC(録音)ボタンを押します。

2 **録音を終了する場合は、RECボタンを押して、一時停止状態にしてから、電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを押します。**

表示画面に「 処理中...」→「 保存しました!」と表示され、録音する前の画面に戻ります。

ちょっとこれを!

●内蔵マイクは無指向性のため、周囲の環境によって雑音が入ることがあります。
●録音中にメモリ容量がいっぱいになると、「メモリフル!」という警告が表示され録音を終了します。

内蔵マイク録音時のファイル形式／録音可能時間※
録音ファイル形式: WAV
チャンネル: モノラル
最大録音可能時間:

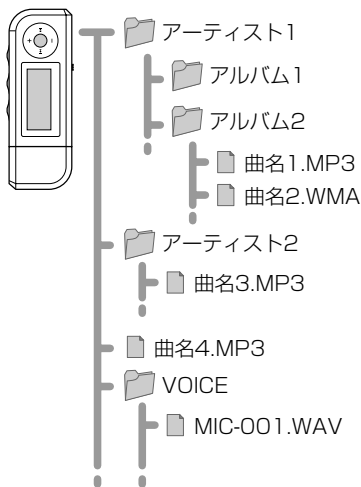
録音音質(サンプリング周波数)	最大録音可能時間
低(8kHz)	約140時間
中(11kHz)	約100時間
高(22kHz)	約50時間

※録音可能時間内でも、バッテリーの持続時間以上連続して録音することはできません。

再生する

フォルダ構造について

パソコンの操作で、本機のメモリの中に多階層のフォルダを作成して表示できます。

【フォルダを作成したときのメモリ内のイメージ】

注意

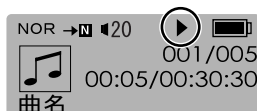
●本機で表示／再生できるフォルダ数の上限は50で、ファイル数の上限は415ファイルです。上限以上のフォルダ／ファイルを保存してもそれ以上のファイルは表示／再生されません。（→P.25）

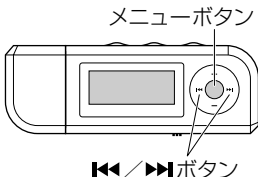
音楽／音声ファイルを再生する

再生／一時停止する

本機の現在の状態は、表示画面にアイコン(▶、❙❙、■)で表示されます。
本機内に保存された音楽ファイルをすべて順に再生するか、フォルダから音楽ファイルを選んで、再生することができます。
フォルダ単位で再生することはできません。(→P.44)

再生(▶)する(通常ファイル再生)

一時停止(❙❙)または停止(■)中に、電源／再生／一時停止(⏻／▶❙❙)ボタンを押します。

再生(▶)する(フォルダから選んで再生)

1 一時停止(❙❙)または停止(■)中にメニューボタンを押します。

2 ⏮またはを⏭使用して、「音楽」を選択し、メニューボタンを押します。

3 ⏮または⏭を使用して、「フォルダ再生」を選択し、メニューボタンを押します。

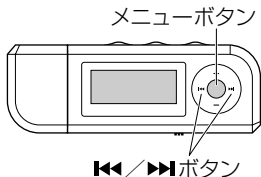
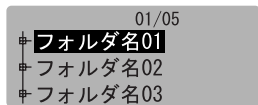
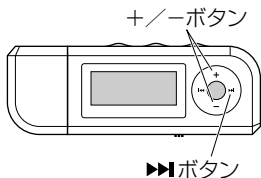
【本体】

メニューボタン

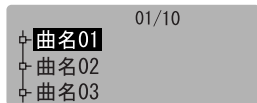
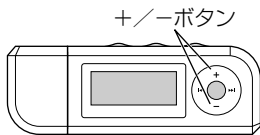
⏮／⏭ボタン

【表示画面】

NOR →N ◀20

フォルダ再生

4 ＋または－を使用して再生するファイル のあるフォルダを選択し、⏭ボタンを押します。

再生する

5 ＋または－を使用して再生するファイル を選択し、電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを押します。

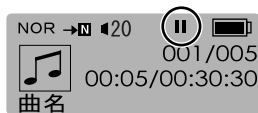
【本体】　　　　　　　　　【表示画面】

ちょっとこれを!

●同じフォルダに書き込めるファイル数は約250ファイルですが、フォルダから選んで再生する場合は、仕様上の制限で99ファイルまでしか表示／再生することができませんのでご注意ください。

6 選択したファイルが停止状態で表示されます。電源／再生／一時停止(⏻／▶II)ボタンを押して再生します。

一時停止(❙❙)する

再生(▶)中に、電源／再生／一時停止(⏻／▶❙❙)ボタンを押します。

注意

- 電源／再生／一時停止(⏻／▶❙❙)ボタンを押し続けると、電源がオフになります。

停止中／一時停止中／再生中のボタン操作

停止中／一時停止中／再生中に本機を操作すると以下のように動作します。

ボタン	操作	本機の状態	
		停止中／一時停止中	再生中
電源／再生／一時停止ボタン	押す	再生	一時停止
	長く押す	電源オフ	電源オフ
操作ボタン	進む(▶▶❙)ボタンを押す	次のファイルを表示する	次の曲の先頭に移る
	進む(▶▶❙)ボタンを長く押す	早くファイル送り	早送り
	戻る(❙◀◀)ボタンを押す	前のファイルを表示する	前の曲の先頭に移る
	戻る(❙◀◀)ボタンを長く押す	早くファイル戻し	早戻し
	＋ボタンを押す	音量上げる	
	＋ボタンを長く押す	早く音量上げる	
	－ボタンを押す	音量下げる	
	－ボタンを長く押す	早く音量下げる	
RECボタン	押す	録音開始 ※	ポイントA・ポイントBの設定／A-Bリピート再生の解除
EQボタン	押す	イコライザの種類を変更	

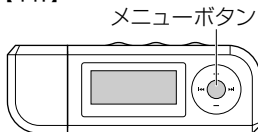
※ 停止中にRECボタンを押すと、ボイスレコーダー機能がはたらき、録音を開始します。

繰り返し／シャッフル再生する

お気に入りの音楽ファイルを繰り返し再生したり、シャッフル再生することができます。

1　メニューボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

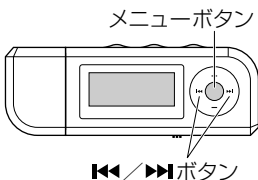
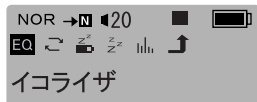
【本体】

【表示画面】

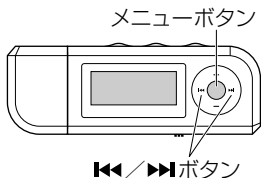
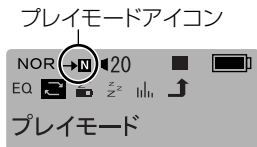
2　⏮または⏭を使用して「設定」を選び、メニューボタンを押します。

選択できる設定メニューが表示されます。

【本体】

【表示画面】

再生する

3 ⏮または⏭を使用して「プレイモード」を選び、メニューボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

⏮または⏭でプレイモード(5種類)を選択し、メニューボタンを押して決定します。
選択したプレイモードは表示画面上にアイコン表示されます。

- **ノーマル：→N**
  音楽ファイルを1回再生します。
- **1曲リピート：T**
  1つの音楽ファイルのみを繰り返し再生します。
- **リピートオール：A**
  すべての音楽ファイルを繰り返し再生します。
- **シャッフル：→S**
  すべての音楽ファイルをシャッフルして1回再生します。
- **シャッフル&リピート：S**
  すべての音楽ファイルをシャッフルして繰り返し再生します。

注意

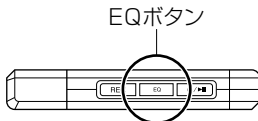
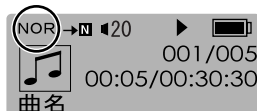
●フォルダを選択してフォルダ単位でリピートやシャッフル再生することはできません。

再生する

音質を変更する(EQ(イコライザ)の設定)

お好みの音質を選んで再生できます。

1 EQボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

EQボタンを押すたびにイコライザ設定(7種類)が切り替わります。
選択したイコライザは表示画面上に表示されます。

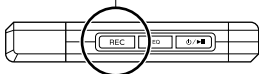
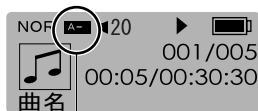
- NOR ：ノーマル
- ROK ：ロック
- JAZ ：ジャズ
- CLA ：クラシック
- POP ：ポップ
- BAS ：バス(低音強調)
- TRE ：高音(高音強調)

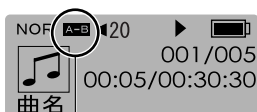
イコライザの設定は、設定メニューからも選択できます。(→P.51)

曲の一部を繰り返し再生する(A-Bリピート機能)

本機は、曲の一部を繰り返し再生することができます。開始位置(ポイントA)と終了位置(ポイントB)を設定すると、その区間を繰り返し再生します。

1 **音楽/音声ファイルを再生中に、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。**

(ポイントAが設定されます。)
表示画面に A- が表示されます。

2 **もう一度、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。**

(ポイントBが設定されて、繰り返し再生を開始します。)
表示画面に A-B が表示されます。

3 繰り返し再生を解除する場合は、REC(A-Bリピート)ボタンを押します。

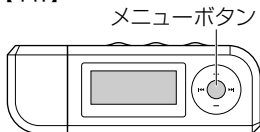
表示画面の A-B 表示が消え、設定したポイントAおよびBは解除されます。

各種設定

各種設定を変更する

以下の操作で各種設定を変更したり確認することができます。

1　メニューボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。設定／確認できる項目(6種類)が表示されます。

【表示画面】

2　⏮または⏭を使用して項目を選択し、メニューボタンで設定するメニューを決定します。

1つ上の階層に戻る場合は、⮥(戻る)を選択し、メニューボタンを押します。

音楽メニュー

音楽ファイルを順に再生するか、フォルダから選んで再生するかを選択します。

【表示画面】

ボイスメニュー

音声ファイルを選択して再生します。

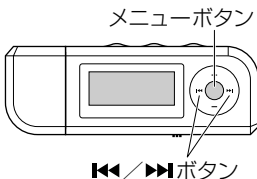
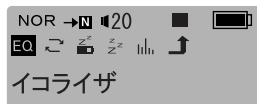
【表示画面】

設定メニュー

以下の設定を変更できます。
設定を変更する場合は、 ⏮ または⏭を使用してそれぞれの項目を選択し、メニューボタンを押して変更・決定します。
1つ上の階層に戻る場合は、⮥（戻る）を選択し、メニューボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

各種設定

設定メニューの　　　　はお買い上げ時の設定(初期値)です。

イコライザ

再生する音楽ファイルにあわせてイコライザを選択します。

ノーマル　：NOR
ロック　　：ROK
ジャズ　　：JAZ
クラシック：CLA
ポップ　　：POP
低音　　　：BAS
高音　　　：TRE

プレイモード

音楽ファイルの再生方法を選択します。

ノーマル　　　　　：音楽ファイルを1回再生します。
1曲リピート　　　：1つの音楽ファイルのみを繰り返し再生します。
リピートオール　　：すべての音楽ファイルを繰り返し再生します。
シャッフル　　　　：すべての音楽ファイルをシャッフルして1回再生します。
シャッフル&リピート：すべての音楽ファイルをシャッフルして繰り返し再生します。

オートパワーオフ

オートパワーオフの時間を設定します。
一時停止(❙❙)または停止(■)状態が一定時間経過すると、自動で電源がオフになります。

1分　：1分間操作しないと電源がオフになります。
2分　：2分間操作しないと電源がオフになります。
5分　：5分間操作しないと電源がオフになります。
10分：10分間操作しないと電源がオフになります。
オフ：オートパワーオフ機能を使用しません。

バックライト

バックライトの点灯時間を設定します。
一時停止(❙❙)または停止(■)状態が一定時間経過すると、自動でバックライトが消灯します。

5秒　　：5秒間操作しないとバックライトが消灯します。
10秒　　：10秒間操作しないとバックライトが消灯します。
20秒　　：20秒間操作しないとバックライトが消灯します。
常にオン：バックライトをオフにしません。

録音音質

ボイスレコーダー機能を使用するときに音声ファイルの録音音質を選択します。
録音音質を低く設定すると長時間録音でき、録音音質を高く設定すると録音できる時間が短くなります。

低　：録音音質「低」(録音可能時間「長」)
中　：録音音質「中」(録音可能時間「中」)
高　：録音音質「高」(録音可能時間「短」)

消去

消去する音楽ファイル･音声ファイルを選択して消去します。

【表示画面】

各種設定

メニュー言語

本機の表示言語を日本語／英語を含む12ヶ国語の中から選択します。

【表示画面】

システム情報

メモリ情報と本機のバージョン情報を表示します。
情報を確認したらメニューボタンを押し、1つ前の画面に戻ります。

【表示画面】

システム情報
メモリ容量：　0000 MB
空き容量：　0000 MB
Ver000.000.000

消去する

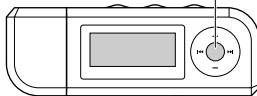
音楽／音声ファイルを消去する

本機に保存されている音楽／音声ファイルは、1ファイルずつ選択して消去することも、一度に すべての音楽／音声ファイルを消去することもできます。

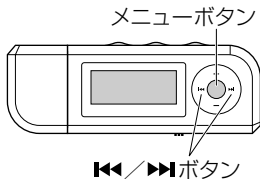
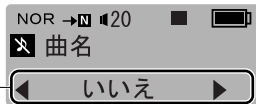
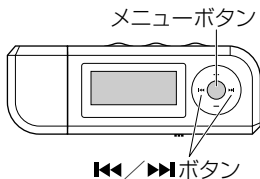
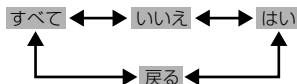
●一度消去してしまったファイルは二度と元に戻すことはできません。消去するときは、本当に不要なファイルかをよく確かめてください。

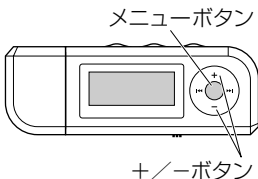
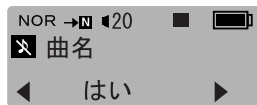
1 メニューボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

【本体】

【表示画面】

消去する

2 ⏮または⏭を使用して「消去」を選び、メニューボタンを押します。

3 ⏮または⏭を使用して消去するファイルの種類(「音楽ファイル」/「音声ファイル」)を選択し、メニューボタンを押します。

⏮または⏭を押すたびに消去操作表示が以下のように切り替わります。

4 消去するファイルを＋または－ボタンで選択して表示させます。⏮または⏭を使用して「はい」を選択し、メニューボタンを押します。

【本体】

【表示画面】

表示画面に「処理中...」→「消去しました！」と表示され、消去が完了します。

● 消去操作をやめる場合は、⏮または⏭を使用して「戻る」を選択し、メニューボタンを押します。

【表示画面】

● 表示されているファイルだけでなく、すべての音楽／音声ファイルを消去する場合は、「全て消去する」を選択し、メニューボタンを押します。

【表示画面】

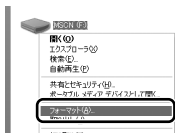
フォーマット(初期化)する

フォーマット(初期化)とは、内蔵メモリに音楽／音声ファイルおよびデータを記録できるようにする作業です。
本機の内蔵メモリのフォーマットは、本機の操作ではできません。以下の手順でパソコンと接続してからフォーマット(初期化)してください。

注意

- フォーマット(初期化)すると、内蔵メモリ内のデータはすべて消去されますので、内容をよく確かめてから操作してください。一度消去してしまったデータは二度と元に戻すことはできません。

1 P.31の手順に従って、本機とパソコンを接続します。

2 [マイコンピュータ]を開き、本機に該当する[リムーバブルディスク]を右クリックし、[フォーマット]をクリックします。

注意

- フォーマットの対象が本機であることを確認してから実行してください。誤って他のドライブをフォーマットするとパソコン上の大切なデータやファイルを消去することになりますのでご注意ください。

3 [ファイルシステム]から[FAT16]／[FAT32](FAT)を選び、[開始]ボタンをクリックします。

注意

●FAT16／FAT32以外は選択しないでください。

4 フォーマットが終了したら、[閉じる]ボタンをクリックします。

5 終了したら、P. 35～36の手順に従って本機をパソコンから取り外します。

付録

用語解説

MP3(MPEG-1 Audio Layer3)

ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGが制定した国際規格です。この圧縮方式では、約1/10の圧縮率が得られます。

WMA(Windows Media Audio)

マイクロソフト社が開発した音声圧縮方式、及びそれを使用したオーディオファイルです。この圧縮方式では、約1/20の圧縮率が得られます。

WAV

Windowsの標準的な音声ファイルです。

ID3タグ

MP3ファイルが持っているアーティスト名や曲名、CDアルバム名などの曲情報で、デジタルオーディオプレーヤーで再生するときに表示するための規格です。

ビットレート

1秒間に転送されるデータ量の単位で、単位はbps(bit per second)。数値が大きいほど音質は良くなりますが、CDとほぼ同等の音質と言われているビットレートは、MP3では128kbps、WMAでは64kbpsです。

DRM(Digital Rights Management)※

デジタル著作権管理。インターネットを通じて音楽や映像を配信する際に、違法なコピーを防止するために使われます。コンテンツとともに再生のためのライセンスを配布するため、ライセンスのない別のパソコンでは再生できず、デジタルオーディオプレーヤーもDRMに対応していない機器では再生できません。

※ 本機はDRMに対応していません。

付録

パソコントラブルシューティング

本機をパソコンに接続しても認識されない場合等、パソコン接続でお困りの場合は、以下をご確認ください。

1 **最初に、ご使用のパソコンに接続されているすべてのＵＳＢ機器を取り外し、パソコンのＵＳＢ端子に本機のUSBコネクタが奥までしっかり接続されているか、ご確認ください。**

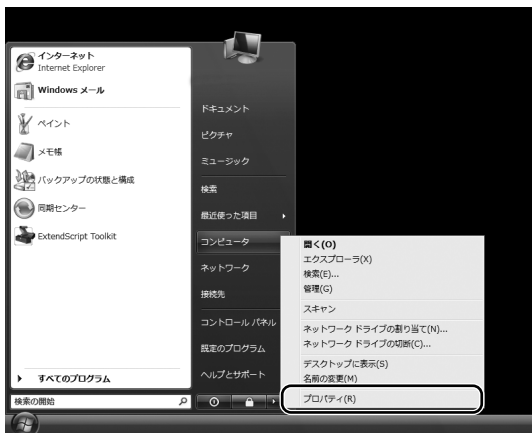
2 **パソコンのオペレーティングシステム(以下、OS)は何ですか？**

Windows ME/98SE/98→	弊社デジタルデジタルオーディオプレーヤーはWindows ME以前のOSのサポートはいたしておりません。
Windows Vista→	**3**へ進んでください。
Windows XP/2000→	**4**へ進んでください。

3 以下の手順で、本機が認識されているか確認してください。

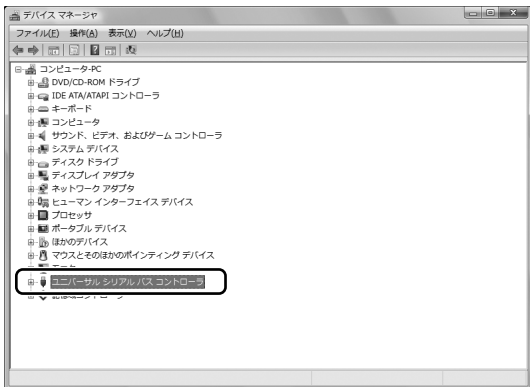
(1) [スタート]をクリックします。

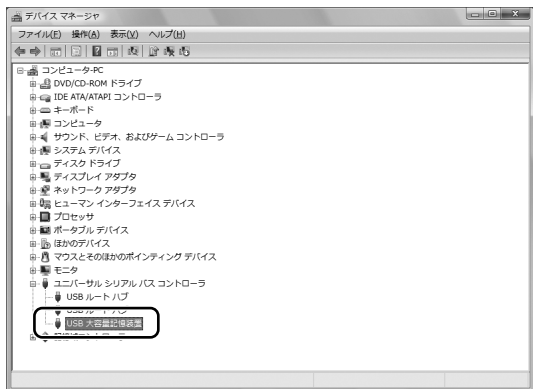
(2) [コンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。
[プロパティ]が表示されない場合は、**7**へ進んでください。

付録

(3) システム情報の画面が表示されますので、画面左上の[デバイスマネージャ]をクリックします。

(4) [ユーザーアカウント制御]の画面が表示されますので、[続行]をクリックします。

(5) [デバイスマネージャ]画面が表示されます。

(6) [デバイスマネージャ]の中の[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の左側の[+]をクリックします。

(7) [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の詳細が表示されます。

(8) [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の中に[USB大容量記憶装置]が表示されているかを確認します。

(9) [USB大容量記憶装置]が表示されている場合は、**5**へ進んでください。[USB大容量記憶装置]が表示されていない場合は、**9**へ進んでください。

付録

4 以下の手順で、本機が認識されているか確認してください。

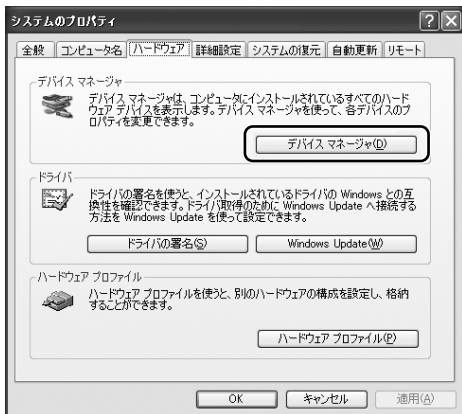
(1) [スタート]をクリックします。

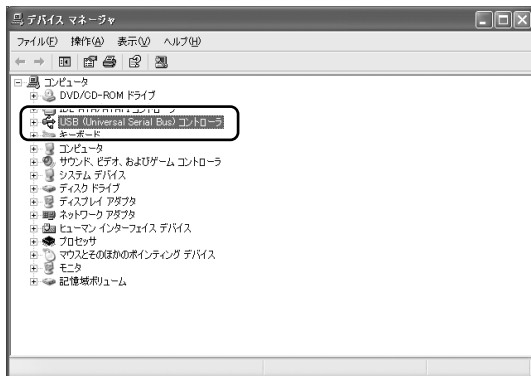
(2) [マイコンピュータ]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

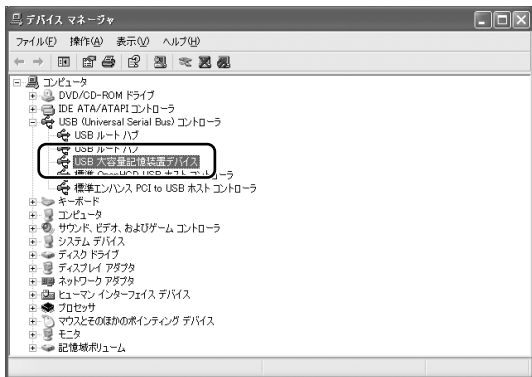
[プロパティ]が表示されない場合は、7へ進んでください。

(3) [システムのプロパティ]画面が表示されます。

(4) [システムのプロパティ]上段の[ハードウェア]をクリックします。

(5) [デバイスマネージャ]をクリックします。

(6) [デバイスマネージャ]画面が表示されます。

(7) [デバイスマネージャ]の中の[USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の左側の[+]をクリックします。

(8) [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の詳細が表示されます。

(9) [USB(Universal Serial Bus)コントローラ]の中に[USB大容量記憶装置デバイス]が表示されているかを確認します。

(10) [USB大容量記憶装置デバイス]が表示されている場合は、**5**へ進んでください。[USB大容量記憶装置デバイス]が表示されていない場合は、**9**へ進んでください。

5 他のパソコンに接続した場合、本機はパソコンに認識されますか？

はい→　**6**へ進んでください。

いいえ→　**9**へ進んでください。

6 本機が認識されないパソコンに再度接続して認識されますか？

はい→　**10**へ進んでください。

いいえ→　**8**へ進んでください。

付録

7 [コンピュータ](Windows Vistaの場合)もしくは、[マイコンピュータ](Windows XP/2000の場合)の[プロパティ]が表示されない。

→ パソコンの管理者による制限が施されている可能性が有ります。パソコンの管理者に確認してください。

8 [USB大容量記憶装置]が表示されているが、[コンピュータ]等に表示されない。(Windows Vistaの場合)

[USB大容量記憶装置デバイス]が表示されているが、[マイコンピュータ]等に表示されない。(Windows 2000/XPの場合)

→ パソコンのシステムまたは、パソコンのソフトウェアなどに起因している可能性が有ります。パソコンの管理者または、パソコンメーカー様へ、ご確認ください。

9 [USB大容量記憶装置](Windows Vistaの場合)または、[USB大容量記憶装置デバイス](Windows XP/2000の場合)が表示されていない

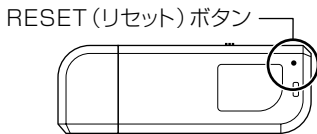
→ 本機が破損している可能性がありますので、ご購入店へお持ちください。

→ パソコンのUSB端子または、システム上の問題も考えられます。詳しくは、パソコンメーカー様などにご確認ください。

10 本機をパソコンに再接続したら正常に認識できた。

→ パソコンへのUSB接続時に、何らかの要因により通信に失敗したと考えられます。数回接続確認をしていただき、パソコンに認識されるようでしたら、ご使用いただいて問題はございません。

故障とお考えになる前に

販売店にご相談になる前に、下記をお確かめください。直らない場合は、お買い上げの販売店へご相談ください。
本機が動作しなくなった場合は、クリップなどの細い棒で、本機のRESET(リセット)ボタンを押して再度電源をオンにしてください。

バッテリー・電源

症状	主な原因	処置
電源がオンにならない	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P. 15~17
	内部システムなどの誤動作	RESET(リセット)ボタンを押してから、再度電源をオンにします。
	ホールド状態になっている	HOLD(ホールド)スイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度電源をオンにします。P.21
バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.9
	規定充電回数を越えている	バッテリーの寿命と考えられます。P.14
電源が途中でオフになる	オートパワーオフがはたらいた	もう一度電源をオンにします。
		オートパワーオフ時間の設定を変更します。P.51
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.15~17
バッテリーの残量表示が正しく表示されない	温度が極端に低い環境で使用している	使用環境をご確認ください。P.9
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.15~17

付録

付録

パソコンと接続する

パソコントラブルシューティングもあわせてご参照ください。(→P.60)

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。([リムーバブルディスク]が表示されないなど)	USBハブなどを使用している	USBハブなどを介さずにパソコン本体に直接接続します。
	正しくUSB接続されていない	パソコンから本機を抜いてもう一度しっかり接続します。
	パソコンのUSBポートに他の機器が接続されている	キーボード／マウス以外は取り外します。
	本機の動作を妨げている他のドライバまたはデジタルオーディオプレーヤーがある	[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認します。 [USB大容量記憶装置デバイス]に黄色い[!]マークが付いているときは、[USB大容量記憶装置デバイス]を削除してから、本機を取り外し、もう一度接続し直します。
	パソコンのUSB機能が有効になっていない	[デバイスマネージャ]を開き、[USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]を確認します。 [USB(ユニバーサルシリアルバス)コントローラ]が表示されていないときは、USB機能が無効です。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更します。

症状	主な原因	処置
本機がパソコンに認識されない。（[リムーバブルディスク]が表示されないなど）	正しくUSB接続されていない	[USB（ユニバーサルシリアルバス）コントローラ]に黄色い[!]や赤い[×]マークが付いているときは、USB機能は動作しません。詳しくはパソコンの取扱説明書を参照の上、有効に設定を変更してください。
		パソコンから本機を抜いてもう一度しっかり接続します。
パソコンから音楽ファイルを本機に転送できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。

デバイスマネージャ

[デバイスマネージャ]は、[コンピュータ]または[マイコンピュータ]から右クリックで[プロパティ]を選ぶか、[コントロールパネル]から[システム]をダブルクリックして、[システムのプロパティ]から開きます。

再生／録音

症状	主な原因	処置
再生できない	転送するファイル数が多すぎる	本機で表示／再生できるファイル数の上限は415ファイルです。 それをこえた場合は表示／再生できないファイルが生じます。
	デジタル著作権管理（DRM）された音楽ファイルを転送している	本機はDRMには対応していません。
	ファイルが破損している	ファイルデータを確認して、転送しなおしてください。
本機で文字が正しく表示されない	表示できない文字が含まれている	フォントデータの制限により表示できない文字があります。
ボタンを押しても反応がない	ホールド状態になっている	ホールドスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作します。
	パソコンと本機をUSBケーブルで接続している	パソコンと本機を接続している間は、操作できません。USBケーブルを取り外してから、操作します。
	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。P.15～17
	結露している	そのまま2～3時間置いてからご使用ください。

症状	主な原因	処置
音声が聞こえない	音量が最小「0」になっている	＋ボタンを押して音量を上げます。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。
音声が聞こえない	ファイルが入っていない	「ファイルがありません!」と表示されるときは音楽ファイルを取り込む、または録音します。P.22
	ファイル形式がＭＰ３／ＷＭＡ／ＷＡＶではない	パソコン上でファイル形式を確認してください。本機はＭＰ３／ＷＭＡ／ＷＡＶ形式以外の音楽／音声ファイルの再生はできません。
音声が割れる／雑音が入る	ＭＰ３／ＷＭＡファイル形式のビットレート設定値が低い	録音するときに、ＭＰ３／ＷＭＡのビットレートの設定値を高くします。
	イヤホン端子に正しく差し込まれていない	イヤホンのプラグを正しく差し込みます。
	イヤホンのプラグが汚れている	乾いた布でプラグの汚れを拭き取ります。
メニューの表示言語が他の言語になっている	「メニュー言語」が他の言語になっている	「メニュー言語」を「日本語」に切り替えます。P.52
マイク録音できない	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。

付録

警告表示

表示	主な原因	処置
ファイルがありません!	再生できるファイルが入っていない	再生できるファイルを本機に転送します。
ファイル制限!	記録されているフォルダ／ファイル数が多すぎる	本機で表示／再生できるファイル数の上限は415ファイルです。 それをこえた場合は管理／再生できないファイルが生じます。(→P25)
メモリフル!	本機のメモリ残量が不足している	ファイルデータ使用量を確認して、不要なファイルを消去します。
ローバッテリー充電してください!	バッテリーが消耗している	バッテリーを充電します。
ホールド!	ホールド状態になっている	ホールドスイッチを操作し、ホールド状態を解除してから、再度操作します。

仕様

モデル名		HMP-X5
記録メディア		内蔵2GBフラッシュメモリ※1
ディスプレイ		液晶（128×64ドット）
表示言語(メニュー)		日本語を含む12ヶ国語
音楽再生	再生ファイル形式［ビットレート］	MP3［32～320kbps］/ WMA［32～192kbps］
	可変ビットレート（VBR）	対応
	デジタル著作権管理（DRM）	非対応
ボイスレコーダー	録音ファイル形式	WAV（ADPCM方式、モノラル）
	最大録音時間	約140時間（録音音質:低）※2
オーディオ	周波数特性	20Hz～20,000Hz
	S／N比	85dB
	イヤホン出力	5.0mW×2
	イコライザ	ロック/ジャズ/クラシック/ポップ/低音/高音
	プレイモード	ノーマル/1曲リピート/リピートオール/シャッフル/シャッフル&リピート
入出力端子	USB端子	USB1.1/USB2.0※3
	イヤホン端子	3.5mmφミニ
対応OS		Microsoft Windows Vista/XP/2000
電源		内蔵リチウムポリマー充電池
充電時間		3時間（USB充電）
バッテリー持続時間		約16時間※4

外形寸法（突起部含む）	幅29×高さ84×奥行き13mm
質量（内蔵バッテリー含む、付属品除く）	約30.7g
使用条件	0℃〜40℃、湿度95%以下（結露しないこと）
付属品	イヤホン、ネックストラップ、専用USB延長ケーブル、取扱説明書（本書:保証書付）

※1　内蔵のフラッシュメモリは一部プログラムファイルが格納されているため、記録可能領域は約1.85GBになります。

※2　ファイル形式:WAV、サンプリング周波数8kHz

※3　USB2.0の転送モードはFS(Full Speed)モードとなります。

※4　バッテリー持続時間は、フル充電、MP3ファイル（128kbps）、音量20、バックライト10秒に設定した場合。上記の時間はあくまでも目安であり、保証するものではありません。

再生収録可能な曲数（目安）

1曲を約4分で換算した場合の目安は次のようになります。

ファイル形式	ビットレート	再生可能な曲数	収録可能曲数（参考）※
MP3	128kbps	約415曲	約480曲
	192kbps	約360曲	約360曲
	256kbps	約240曲	約240曲
WMA	64kbps	約415曲	約960曲
	96kbps	約415曲	約720曲
	128kbps	約415曲	約480曲
	192kbps	約360曲	約360曲

※ 仕様制限により、本機に収録可能な曲数と本機で表示／再生できる曲数は異なります。本機で表示／再生可能な曲数（ファイル数）の上限は415曲になります。

メニューリスト

電源を入れた状態でメニューボタンを押すと、メニューの第一階層が表示されます。
⏮ または⏭を使用してメニューを選択し、メニューボタンで決定します。⮥(戻る)を選択し、メニューボタンを押すと、一つ上の階層に戻ります。

第一階層	第二階層	説明
音楽	ファイル再生／フォルダ再生	再生する音楽ファイルを選択できます。(→P.49)
ボイス	音声ファイル選択	再生する音声ファイルを選択できます。(→P.50)
設定	イコライザ	再生する音楽ファイルにあわせたイコライザの種類を選択できます。(→P.51)
	プレイモード	音楽ファイルのプレイモードを、ノーマル/1曲リピート/リピートオール/シャッフル/シャッフル&リピートから選択できます。(→P.51)
	オートパワーオフ	オートパワーオフする時間を、オフ/1分/2分/5分/10分から選択できます。(→P.51)
	バックライト	バックライトの点灯時間を、常にオン/5秒/10秒/20秒から選択できます。(→P.52)
	録音音質	録音する音声ファイルの音質を、低/中/高から選択できます。(→P.52)
消去	－	音楽ファイルや音声ファイルを選択して削除できます。(→P.52)
メニュー言語	－	表示する言語を選択できます。(→P.52)
システム情報	－	使用メモリーの状況を確認できます。(→P.53)

索引

記号・英数字

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

付録

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈物でいただいたものの修理
などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68

FAX 0120-3121-87

（受付時間）
365日／9:00～19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-8802-28

FAX 03-3260-9739

（受付時間）
月～金曜日／9:00～17:30

携帯、PHSからもご利用できます。
土曜・日曜・祝日と年末年始・夏期休暇など弊社の休日は休ませていただきます。

●お客様が弊社にお電話でご連絡いただいた場合には、正確にご回答するために、通話内容を記録（録音など）させていただくことがあります。
●ご相談、ご依頼いただいた内容によっては弊社のグループ会社に個人情報を提供し対応させていただくことがあります。
●出張修理のご依頼をいただいたお客様へ、アフターサービスに関するアンケートハガキを送付させていただくことがあります。

本書および本機の使用により生じた損失、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても当社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。また商品の色調は、印刷のため異なる場合もあります。あらかじめご了承ください。

日立リビングサプライホームページ
http://www.hitachi-ls.co.jp/

i.μ's ホームページ
http://i-muse.jp/

(ヘ) 消耗品を取り替える場合。
(ト) 本書のご提示がない場合。
(チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記載がない場合あるいは字句を書き換えられた場合。

2. この商品について出張修理をご希望する場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. 贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には本書P.82に記載のご相談窓口にご相談ください。
5. お客様にご記入いただいた保証書の写しは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。
6. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。
7. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   Effective only in Japan

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または本書のご相談窓口にお問合せください。
●保証期間経過後の修理によって使用できる製品は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。
●このデジタルオーディオプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後3年です。
●補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

デジタルオーディオプレーヤー保証書　持込修理

保証期間内に取扱説明書、本体ラベル等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、本書記載内容にもとづきお買い上げの販売店が無料修理いたします。
お買い上げの日から下記の期間内に故障した場合は、商品と本書をお持ちいただき、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

形名	HMP-X5	※お買い上げ日	保証期間
		平成　年　月　日	本体：1 年
※お客様	ご住所	〒　－	
	ご芳名	様	
※販売店	住所	〒　－	
	店名	TEL	

※印欄に記入のない場合は無効となりますから必ずご確認ください。

1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。
   （イ）使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障または損傷。
   （ニ）車両、船舶に搭載して使用された場合に生じた故障または損傷。
   （ホ）一般家庭用以外（例えば業務用）に使用されて生じた故障または損傷。

（裏面に続く）

株式会社 日立リビングサプライ
〒162-0814　東京都新宿区新小川町6-29（アクロポリス東京）
TEL.03(3260)9611　　FAX.03(3260)9739